

助成金活用で人材育成と安定的な企業運営を！

人材開発支援助成金活用事例②

(人材育成支援コース：介護職員初任者研修)

実施事業所
社会福祉法人R

介護施設（中小企業）
従業員数：80名
事業内容：介護事業サービス

事例②

○助成金を活用するに至った背景事情

介護の仕事に就きはじめてた職員に、介護の知識・技術のほか、利用者との関わり方や介護の考え方等を学ばせ、育成を図りたいため。

○人材育成上の課題

職場で経験年数がある者から新人の職員に対し、現場での指導・育成のため、集中して教える時間をつくるのが課題である。

◆教育訓練の内容

- 教育訓練機関 : 介護関係の教育訓練機関
- 受講コース : 介護職員初任者研修
- 訓練目標 : 介護に関する専門的な知識を習得するとともに、
介護に対する考え方・利用者との関わり方等を学ぶ。
- 訓練時間 : 一人あたり
＜OFF-JT＞ 96時間30分
- 受講料等 : 一人あたり 98,000円

◆助成金の額(一人あたり)

○助成金の対象となる経費、賃金および実施助成

- ①研修受講料1人あたり : 98,000円
- ②訓練時間に対する賃金助成 : 760円/h(中小企業)

< OFF-JT >

- ①経費助成 : 44,100円 (受講料×45%)
- ②賃金助成 : 73,300円 (@760円×96.5h)

支給総額 117,400円 ※百円未満切り捨て

◆訓練実施を終えて

★訓練の効果★

経験年数が少ない職員も、研修を受けたことで、現場でより意欲的に動くことができ、職員同士の意見交換も多行われるようになってきた。

★今後の展開★

様々な専門員を配置していくことで、介護業務の専門性について職員間でも理解が深まり、介護サービスの質がより向上することを目指したい。